

## 脱線防止ガード脱落・新幹線と接触！

### 会社は重大事故という認識があいまいだ

先月3日、新幹線の脱線防止ガードのボルトが緩み、留め金から脱線防止ガードが外れて倒れるという大変な事象が発生しました。この事態に対して地本は会社に緊急申し入れを行い4/4業務委員会が開催されました。

この脱線防止ガードは2/24に設置されてわずか一週間で脱落しました。しかも、脱落した後何らかの原因でうきあがり、走行してきた新幹線の床下機器にぶつかり、床下機器が損傷しました。

**一步間違えば、脱線防止ガードが原因で脱線が発生したかもしれないのです。**

また、脱落したガードと同じ時期に設置した他の脱線防止ガードもボルトがずれていたものが発見されていることもあきらかになりました。

会社は、当面ボルトを再締結する対策を行うとともに、調査検討を進め根本的な対策を考えていると答えています。

しかし、想定される原因や対策をどう考えているのかを問いただしても、「調査中である」「検討中である」と繰り返すだけであり、重大事故を防止するために労働組合とも真摯に話し合っていくという態度ではなく、脱線の一步手前だったという危機意識が感じられないものでした。

地本は、原因究明・現場への説明をきちんと行うこと、対策が確立されたら労組にも説明することを強く求めました。